

地球温暖化対策実施状況報告書

平成26年 6月 6日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市戸塚区戸塚町4790番地3

氏名 株式会社 東横商事
代表取締役 飯島 隆史

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社 東横商事 代表取締役 飯島 隆史				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市戸塚区戸塚町4790番地3				
主たる事業の業種	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業			
	中分類	80 娯楽業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,412	kl	自動車の台数	台

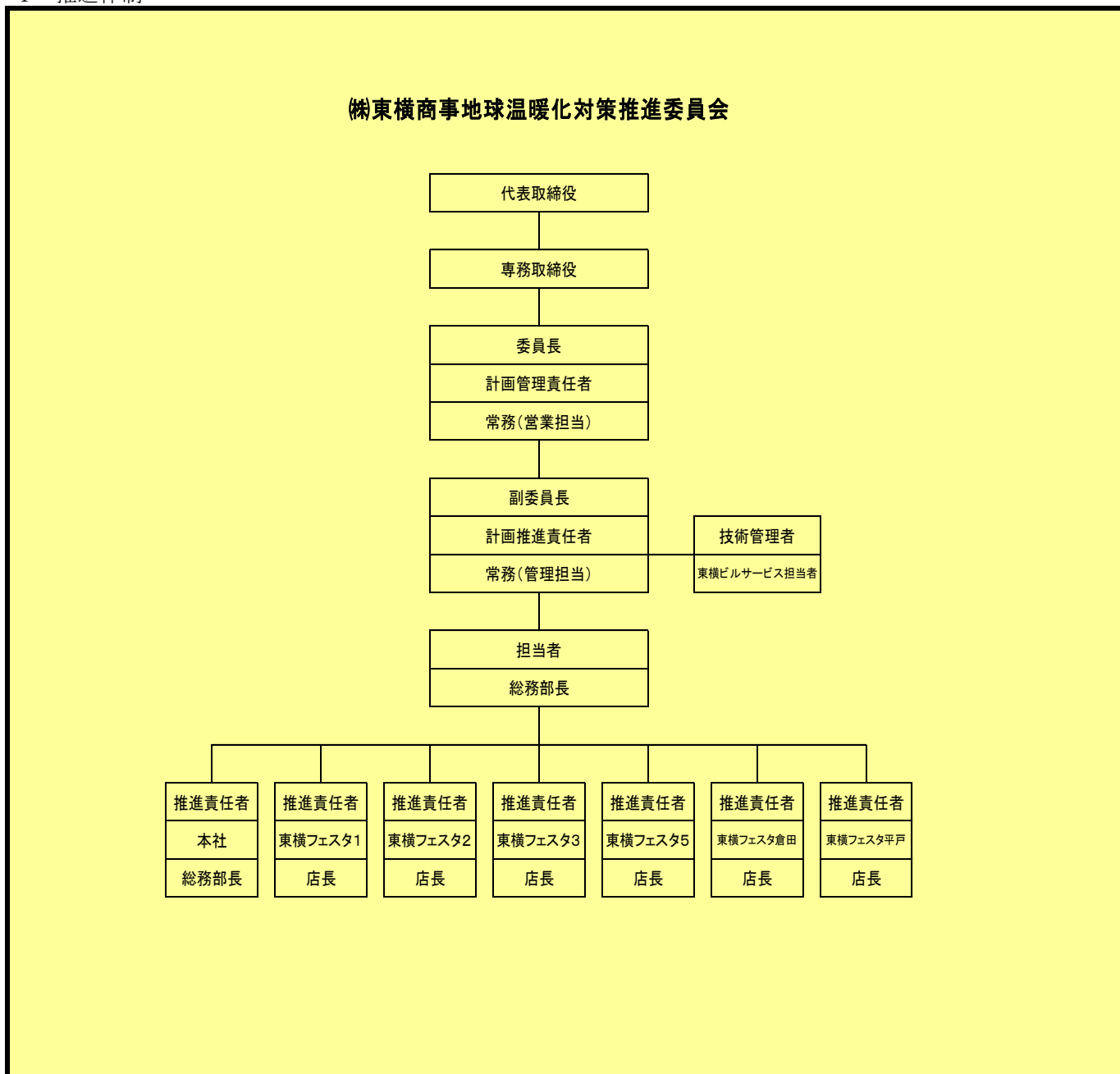
2 計画期間及び実施年度

計画期間	23年度～	25年度	実施年度	25年度
------	-------	------	------	------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<ul style="list-style-type: none">・ 会社会的な節電対策への取組み。 平成24年夏季（7月～9月）における節電優秀店舗表彰を実施。・ 計画的な省エネ設備、機材の導入。 店舗リニューアル時、照明の一部LED化を実施 平成25年4月 東横フェスタ倉田

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	http://www.toyoko.jp/
窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (22年度)	基準排出量	2,510	t-CO ₂			基準原単位	383.62	t-CO ₂ /	千m ²
	調整後	2,144	t-CO ₂			目標原単位	374.45	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度 (25年度)	目標排出量	2,450	t-CO ₂	削減率	2.4 %	削減率	2.4 %		
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>1 地球温暖化防止に向け、全社を挙げた組織的な取り組み。 ・地球温暖化対策推進委員会</p> <p>2 節電対策 ・電気設備（遊技台等）、ホール内外の照明、イルミネーション等の一部消灯の実施。 ・空調設備等のメンテナンスの確行。</p> <p>3 主要設備の対策 ・照明設備のLED化。 ・電気設備等の更新時に省エネタイプの導入。</p>								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (23年度)	排出量	1,910	t-CO ₂	削減率	23.9 %	排出原単位	291.92	t-CO ₂ /	千m ²
	調整後	1,864	t-CO ₂	削減率	13.1 %		削減率	23.9 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>節電対策として全店舗で電気設備（遊技台等）、ホール内外の照明、イルミネーション等の一部消灯の実施、事務所と店舗で使用していない部屋の消灯を実施した。また、遊技場組合として7月から9月の間、1店舗あたり月3日間の輪番休業を実施した結果、大幅に削減率を上げることができた。</p>								
第二年度 (24年度)	排出量	2,061	t-CO ₂	削減率	17.9 %	排出原単位	314.99	t-CO ₂ /	千m ²
	調整後	2,061	t-CO ₂	削減率	3.9 %		削減率	17.9 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>昨年度に引き続き節電対策として不用照明の消灯、イルミネーション等の一時的な消灯を実施している他、ホールにおける開店・閉店作業時の区分消灯にも心掛けています。また、空調機の運転に当っては室温に合わせたこまめな温度設定や、運転時間の短縮等により、より効率的な室温管理を実施しています。</p>								
第三年度 (25年度)	排出量	2,141	t-CO ₂	削減率	14.7 %	排出原単位	327.22	t-CO ₂ /	千m ²
	調整後	2,141	t-CO ₂	削減率	0.1 %		削減率	14.7 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>当初計画における、第3年度(25年度)の目標排出量：2,450 t-CO₂に対し、達成状況は2,141 t-CO₂となり、目標は達成できました。これは継続した節電対策、特に不用照明の消灯や開店・閉店作業時の区分消灯などに心掛けるとともに、空調機の運転に当っては室温に合わせたこまめな温度設定や、運転時間の短縮等により、より効率的な室温管理に努力した結果だと思えます。</p>								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>23年度から全社を挙げて、地球温暖化対策、主に節電対策を推進してまいりました。この結果、当初計画の目標排出量は達成することが出来ました。しかし、サービス業としての難しさもあり、今後とも引き続き節電対策を推し進めていく所存です。今後の方針としましては、全社を挙げた取り組みの継続、そして人的な面において新入スタッフへの啓蒙教育等に努め、全スタッフ一人一人の節電意識の向上を継続して図っていくとともに、設備面においては機会あるごとに省エネ設備への転換を推進していきたいと思えます。</p>								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	8	2,510	8	1,910	8	2,061	8	2,141
合計	8	2,510	8	1,910	8	2,061	8	2,141

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

9 重点対策の実施状況

		基準年度	第一年度	第二年度	第三年度	備考	
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	実施中	実施済	実施済	実施済	8事業所
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	未実施	実施済	実施済	実施済	8事業所
	3	機器管理台帳の整備	未実施	実施中	実施中	実施済	8事業所
	4	照明設備の運用管理	未実施	実施中	実施中	実施済	8事業所
	5	エネルギー使用量の把握	非該当	非該当	非該当	非該当	原油換算エネルギーが500k1以下ため
	6	各種図面の整備	非該当	非該当	非該当	非該当	原油換算エネルギーが500k1以下ため
	7	外気導入量の適正管理	非該当	非該当	非該当	非該当	原油換算エネルギーが500k1以下ため
	8	フィルター等の清掃	非該当	非該当	非該当	非該当	原油換算エネルギーが500k1以下ため
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	非該当	非該当	非該当	非該当	原油換算エネルギーが500k1以下ため
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	非該当	非該当	非該当	非該当	原油換算エネルギーが500k1以下ため
	11	室内温度の適正管理	実施中	実施中	実施中	実施済	8事業所
	12	地下駐車場の換気管理	非該当	非該当	非該当	非該当	該当設備はありません
	13	照明設備の高効率化	未実施	実施中	実施中	実施中	平成23年度から順次、照明のLED化を実施中。5事業所は一部実施済。
	14	事務所機器の待機電力管理	未実施	実施済	実施済	実施済	8事業所
	15	機器性能管理	非該当	非該当	非該当	非該当	該当設備はありません
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	非該当	非該当	非該当	非該当	該当設備はありません
	17	燃焼設備の空気比管理	非該当	非該当	非該当	非該当	該当設備はありません
	18	排出ガス温度の管理	非該当	非該当	非該当	非該当	該当設備はありません
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	非該当	非該当	非該当	非該当	該当設備はありません
	20	工業炉表面の断熱強化	非該当	非該当	非該当	非該当	該当設備はありません
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	非該当	非該当	非該当	非該当	該当設備はありません
	22	コンプレッサの吸気管理	非該当	非該当	非該当	非該当	該当設備はありません
第3号該当事業者	23	推進体制の整備					
	24	自動車の適正な使用管理					
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理					
	26	エコドライブ推進体制の整備					
	27	自動車の適正な維持管理					

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

10 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1				
2				
3				
4				
5				

11 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	平成23年度	横浜市内の店舗	46 t-CO ₂	東京電力
2	電気の使用	平成24年度	横浜市内の店舗	0 t-CO ₂	東京電力
3	電気の使用	平成25年度	横浜市内の店舗	0 t-CO ₂	東京電力
4					
5					

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

13 実施状況等に対する自己評価

--

地球温暖化対策実施状況報告書

1 事業所等の概要

事業所等の名称					
事業所等の所在地					
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積		㎡	原油換算エネルギー使用量	
				k l	
	事業所等の区分			所有形態	
	エネルギー管理権原			使用形態	

2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

3 推進体制

細則第38号様式（第2条第49号）
（個別票）

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位		t-CO ₂ /	
								削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
								削減率	%
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
								削減率	%
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
								削減率	%
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									